

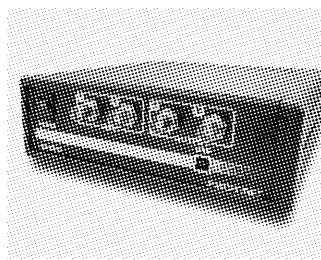
特性システム  
サーボシステム  
計測

# 間欠動作状態で計測

## マイクロネット F A 業界など提案

【川崎】マイクロネット（川崎市川崎区、浜三弘社長、044・244・9406）はサーボ特性計測システム「クアトロシステムⅡ写真」を発売した。デジタル信号処理を応用したサーボアナライザーで、サーボモーター制御の特性を計る。間欠動作状態で計測できるのが特徴。価格は計測器とソフトで130万円の予定。F A、ロボット、プリンター業界などを対象に、初年度20システムの販売を目指す。同システムはモーター

の一定回転にノイズを加えて信号の乱れを計測し、結果をグラフ表示する。ホワイトノイズ（全周波数が含まれている信号）を計測対象物と計測器に内蔵した適応フィル



ターに同時入力し、出力の誤差を繰り返して適応フィルターに送り、誤差がゼロに近くなるまで修正を重ねる。測定対象物の特徴を示す伝達関数で特性を判明する。適応フィルターは毎秒1万回作動する。

従来はモーターを10〜20分間連続回転させて数種類の周波数信号を入力しないと計測できなかつたが、回転・停止を繰り返す間欠動作状態でも計測できるようにした。モーターの停止時に適応フィルターの更新を止める。回転を完全に止めても、その止めた時点から継続して作動する。